

急性胆嚢炎 開腹胆嚢摘出術の手術を受ける方の入院診療計画書

主治医: _____

病棟: _____棟 _____階

入院日: _____月 _____日

受持看護師: _____

病棟責任者: _____

特記事項:

病状説明: あなたの病名は、急性胆嚢炎です。胆のうに出来た結石等の影響で腹痛や発熱を生じます。開腹で胆嚢を切除します。入院期間は約7日間です。

退院基準: 炎症がない
食事を50%以上食べることができる
痛みをコントロールできる

	外来	入院 ~ 手術当日(前) (/) 手術当日(後)	術後1日目 (/)	術後2日目 (/)	術後3日目~術後6日目・退院	
検査 治療 処置	●血液検査 ●レントゲン撮影 (胸部・腹部) ●心電図検査 ●肺機能検査 ●尿検査 上記の検査を行います。	●リストバンドに名前を記入して取り付けます。 ●動脈からの採血があります。(血液中の酸素濃度を調べます) ●左手に点滴用の管を入れます。	●手術直後は30分後、1時間後と2時間後、6時間後、12時間後に検温します。 ●酸素・心電図モニター、血液中の酸素濃度を測る機器をつけます。 ●血液の循環をよくするため足にフットポンプをつけます ●お腹に管が入る場合があります	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●酸素・心電図モニターを外します。 ●ガーゼ交換をします。 ●血液検査をします。 ●フットポンプを外します。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 ●午前9時頃より医師・看護師による回診があります。回診時、傷の確認をします。きれいな傷なら、消毒はありません。ガーゼをはずします。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 ●回診時、傷の観察を行い傷の状態により抜糸をしていきます。 ●状態を見て退院となります
薬剤	●普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい。	●点滴を行います 	●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。	※点滴終了後、針を抜きます		
安静度		●ベッド上安静です。 ●ベッドで手術室に入室します。	●ベッド上安静です。(寝返りはできます)	●歩行の許可が得ます。 	●積極的に歩くようにしましょう。 ●制限はありません	
リハビリテーション		●仰向けで深呼吸の練習をして下さい。	●目が覚めたら、深呼吸をして下さい。	●看護師によるリハビリテーションを行います。 	●最初は座る練習から始め、徐々に歩いて下さい。最初は看護師が付き添います。	
排泄	●制限はありません。	●制限はありません。	●手術中に尿を出す為の管が入ります。	●尿の管を抜きます。		
清潔	●入浴できます。	●男性はひげそりをして下さい ●油分の多いクリームをつけたり、マニキュアや化粧は止めて下さい。 ●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯、かつら等外せるものは外して下さい。 	●体を拭き、パジャマに着替えます。	●体を拭きます。(拭けるところは自分で拭いてください)	●シャワー浴の許可が出ます。(術後4日目から) 	
食事栄養管理		●食事や水分を摂ることはできません 	●術後の安静を守り、頻回に観察するため、手術後は24時間を目安に回復室に入室していただきます。 ●転落、転倒等不測の事態を避けるため、ベッド柵を取り付けます。 ●痰は飲み込まずに出してください ●管が入っていますので、抜かないようにしてください。 ※ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。(看護師が案内します) ※ご家族の方の面会は回復室にて行います。短時間、少人数でお願いします。	●術後より水分が飲めます 	●朝から5分粥が始まります 	●術後3日目より全粥 ●術後4日目より米飯が始まります。
説明指導教育	●<手術の必要物品> □ ティッシュペーパー1箱、 □ パジャマ1枚、 □ 下着1枚 □ ビニール袋1枚 □ 洗面道具 □ コップと曲がるストロー □ 入れ歯入れ(必要時) □ 内服薬 □ 腹帯(必要時) ※ひとつずつに名前を書いてください。	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(主治医・看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師からお薬の説明があります。 ●喫煙されている方は禁煙して下さい。 ●朝・昼・夕・寝る前にうがいをして下さい。 ●眠れない時は、看護師にお知らせ下さい。	●うがいと排尿を済ませ、手術着に着替えます。 ●ご家族の方は手術室へ付き添いをお願いします。 ※ご家族のかたは、手術が始まりましたら、A棟5階の食堂でお待ち下さい。		●手術室看護師の訪問があります。	●退院診療計画書をお渡し致します。